

事業評価シート

番号 0640060 - 001

【1.基本情報】

事業名	鵜飼事業				
担当部名	商工観光部	担当課名	鵜飼観覧船事務所		
総合計画政策	観光を活性化します		政策コード	3 - 6 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観覧船に関する条例	

【2.事業概要】

事業の目的	全国から観光客を誘客し、鵜飼観覧船に乗船してもらうことにより観光産業の活性化及び経済波及効果を上げる。	
事業の内容	鵜飼観覧船事業を行い、全国から観光客を誘客する。 鵜飼は、毎年5月11日から10月15日まで鵜飼休みの日を除き毎夜行われ、鵜飼観覧船を運航する。	
事業の対象	何を	鵜飼観覧
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及び市民
	どのくらい (具体的 数値で)	5月11日～10月15日(鵜飼休みの日及び増水による中止の日を除く)
平成29年度 (実施内容)	テレビや雑誌等報道関係者による取材の乗船料を引き続き無料にし、メディア露出を増やすことにより全国及び海外からの観光客の誘客に努め、世界に向けた情報発信力の向上を図った。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	49,265	1,670	50,768	1,670	52,939	1,670
嘱託職員	2,626	260	2,652	260	2,678	260
アルバイト	2,803	637	2,820	641	2,953	642
計(A)	54,694	2,567	56,240	2,571	58,570	2,572

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		423,589	409,460	430,327
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	賃金	179,422	180,874	180,529
	報償費	174,003	147,813	175,504
	委託料	25,050	39,827	27,381
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
		25,243	26,413	23,901
計(D)=B+C		448,832	435,873	454,228

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	503,526	492,113	512,798

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金		4,000	
市債			
使用料・手数料	285,003	296,697	301,932
その他	2,572	559	560
計(F)	287,575	301,256	302,492

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	215,951	190,857	210,306

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	103,927	108,653	110,412
受益者負担額(千円)	283,423	295,594	300,623
受益者負担率(%)	56.3%	60.1%	58.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,078	1,757	1,905

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	鵜飼開催日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	127	127	127
実績値	115	115	119

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	鵜飼観覧船乗船者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	115,000	115,000	115,000
実績値	103,927	108,653	110,412

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	長良川鵜飼は日本の宝であり世界に誇るべき伝統文化である。この事業を通じて、市民にとってかけがえのない文化を守り続けてきている。 収益事業であるが、伝統文化継承という点から、民間が実施することは慎重な検討が必要となる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	「鵜飼事業のあり方検討委員会(諮問機関)」の答申において、雇用も含め、約20億円の経済波及効果があるとされ、未来永劫継続していくべきものとされている。 伝統文化継承に配慮しながら、多様な運営主体について検討する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	年間約11万人が観覧する本市の基幹的な観光資源であり、雇用、宿泊などの消費への波及効果は大きい。また、鵜飼漁の技術は、国重要無形民俗文化財に指定されるなど、世界遺産登録に向けても観覧船事業の重要性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光客や地域観光事業者など鵜飼観覧船事業における受益者負担のあり方を検討する必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	鵜匠、船頭の後継者育成なども含め、鵜飼観覧船事業を持続可能な形態へシフトすることが不可欠である。

事業評価シート

番号 0640060 - 002

【1.基本情報】

事業名	船員互助会補助				
担当部署	商工観光部	担当課名	鵜飼観覧船事務所		
総合計画政策	観光を活性化します		政策コード	3 - 6 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会
実施期間	平成9 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	船員互助会に対して補助し、船員の資質向上を図る。				
事業の内容	船員の資質向上に資する事業を行う互助会に補助した。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会			
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜市観光事業補助金交付要綱第3条により、交付対象事業の実施に要する経費の2分の1以内			
平成29年度 (実施内容)	鵜飼観覧船船員互助会の実施する事業の内、船員独自の研修等の補助対象事業に対して要綱に定める補助を実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	148	5	152	5	159	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	148	5	152	5	159	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		1,000	1,000	567
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	補助金	1,000	1,000	567
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		1,000	1,000	567

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,148	1,152	726

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,148	1,152	726

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	鵜飼観覧船船員互助会会員数	鵜飼観覧船船員互助会会員数	鵜飼観覧船船員互助会会員数
受益者数	103	91	83
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	11,141	12,659	8,741

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	1,000	1,000	750
実績値	1,000	1,000	567

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	総会・研修会の回数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	3

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	満足度の高い鵜飼観覧船の乗船環境を提供するためには、安全運航が必要不可欠であり、多様化する観覧者のニーズに対応する船員の資質向上は必要である。 市の観光に資する観点から、事業主体である市が行うもの。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	事業費の1/2の補助であり、他のメニューと比較し妥当である。 満足度の高い鵜飼観覧船の乗船環境を提供するためには、安全運航が必要不可欠であり、多様化する観覧者のニーズに対応する船員の資質向上は必要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	総会・研修会を3回実施し、資質向上が図られた。研修では、他類似施設において実地研修も実施した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	船員不足の状況下で、年間10万人を超える観覧船事業を支えるために市が助成しているもの。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	資質向上のための自主的な取り組みに対して、今後も補助を行っていく。

事業評価シート

番号 0640060 - 003

【1.基本情報】

事業名	観覧船建造事業				
担当部署	商工観光部	担当課名	鵜飼観覧船事務所		
総合計画政策	観光を活性化します		政策コード	3 - 6 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	古く傷みの激しい船を廃船し、ニーズに合った船に切り替えて安全運航に努める。また、船のイメージアップを図り、多くの観光客の誘客を図る。				
事業の内容	安全かつ質の高い鵜飼観覧を実施するため、老朽化した船の廃船及び観覧船乗船客のニーズに合った新造船の建造を計画的に行う。 観覧船の建造過程を自由に見学できるようにし、まちなか歩きの推進に寄与する。 鵜飼観覧船造船技術の継承				
事業の対象	何を	鵜飼観覧船			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及び市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年1隻			
平成29年度 (実施内容)	15人乗り観覧船「清風丸」1隻(5月就航)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	148	5	152	5	159	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	148	5	152	5	159	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		14,869	16,076	15,271
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	原材料費	3,340	5,265	4,460
	賃金	11,529	10,811	10,811
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		14,869	16,076	15,271

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	15,017	16,228	15,430

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	15,017	16,228	15,430

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	103,927	108,653	110,412
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	144	149	140

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	新造船の建造		単位
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	鵜飼観覧船乗船者数		単位
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	115,000	115,000	115,000
実績値	103,927	108,653	110,412

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは必要である。 本市の中心的な観光資源である鵜飼と一体であり、技術者を保護し、後継者を育成しながら、貴重な和船の製造技術を継承する必要がある市が実施すべきである。過去から本市の事業であり、国や県が実施することは、無理と思われる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	仕入れた原材料から建造することで低廉に建造している。 本市の中心的な観光資源である鵜飼と一体であり、技術者を保護し、後継者を育成しながら、貴重な和船の製造技術を継承する必要がある市が実施すべきである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	年度中に1隻の船が完成した。造船所の見学者も6,840人あり、滞在時間の延長にも寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは必要であり、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは今後も必要である。

事業評価シート

番号 0640060 - 004

【1.基本情報】

事業名	ウミウ捕獲技術保存協議会				
担当部署	商工観光部	担当課名	鵜飼観覧船事務所		
総合計画政策	観光を活性化します		政策コード	3 - 6 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	ウミウ捕獲技術保存協議会
実施期間	H16 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	(H15年の鵜捕り場の崩落を受け、岐阜市長の提案によりH16年に設立され現在に至る。) 鵜飼の伝統文化継承に必要なウミウの安定供給に貢献すること。岐阜市の宝である「鵜飼」をウミウの安定供給により支えることで観光に寄与すること。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウミウ捕獲技術保存に関すること及びウミウの安定供給に関すること。 ・鵜飼文化振興のため環境整備に関すること。 ・ウミウの捕獲から鵜飼実施までに関する情報交換及び課題の協議。 ・ウミウ捕獲場に関すること。 				
事業の対象	何を	負担金(加入団体負担金)			
	誰に (対象者・対象者数)	ウミウ捕獲技術保存協議会			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業規模は約440万円で日立市(1/2)と有田市を除く11鵜飼開催地(1/2)が拠出する。負担額は、均等割額10万円と羽数割(1/4の110万円に過去15年間の鵜の供給割合を乗じて算出した額)で、H29年度は350,000円。			
平成29年度 (実施内容)	平成29年度は岐阜市にて幹事会・総会が開催された。(H29年7月5日開催)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	295	10	304	10	317	10
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	295	10	304	10	317	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		365	355	350
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	負担金	365	355	350
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		365	355	350

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	660	659	667

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	660	659	667

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	鵜匠、鵜飼観覧船乗船客	鵜匠、鵜飼観覧船乗船客	鵜匠、鵜飼観覧船乗船客
受益者数	103,933	108,659	110,418
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6	6	6

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	協議会負担金	単位	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	365	355	350
実績値	365	355	350

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ウミウ捕獲数(岐阜市分)	単位	羽
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	6	11	18
実績値	6	11	18

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	日立市にあるウミウ捕獲場は、平成23年の東日本大震災で捕獲場に亀裂が入り、崩落の可能性もあるなど、今後のウミウの安定供給のためにも捕獲場の維持は欠かせない。また、ベテランの鵜捕り師が引退するなど、後継者育成も課題となっている。協議会を通じ、捕獲場の維持及び後継者の育成に寄与している。 鵜飼観覧船事業の主体であり、市域の観光振興を図る市が行う事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	負担金は協議会のH4年からの累計捕獲数に単価を乗じる形で算出され、毎年負担金が増加していた。このため、H22年度から算出期間に期限(過去15年間の捕獲総数)を設けることを岐阜市が提案し、増加することに対し歯止めを掛けている。 この協議会のみがウミウ対策の検討を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年、ウミウを協議会を通じ鵜匠に供給(平成27年度6羽、平成28年度11羽、平成29年度18羽) 毎年、約1回捕獲場の補修のほか、通年管理
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光振興の観点で他市においても自治体の負担により実施している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜市の宝である「鵜飼」をウミウの安定供給により支えており、今後も必要である。

事業評価シート

番号 0640060 - 005

【1.基本情報】

事業名	長良川遊覧船事業				
担当部署	商工観光部	担当課名	鵜飼観覧船事務所		
総合計画政策	観光を活性化します		政策コード	3 - 6 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市観覧船に関する条例	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市に來られた観光客に本市の遊覧船をPRするとともに、国の重要文化的景観に選定された景色を船上から楽しんでいただくことを目的に遊覧船を運航する。	
事業の内容	鵜飼観覧船乗り場を発着とする遊覧船をGW期間に運航する。運航時間は10:00～15:00とし、1時間に1便を運航する(最終便14:00出航)。遊覧時間は40分～45分。	
事業の対象	何を	遊覧船
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及び市民
	どのくらい (具体的 数値で)	GW期間4月29日～5月7日(H29)
平成29年度 (実施内容)	多数の乗船者が利用された。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		159	5
嘱託職員	0		0		52	5
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	210	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	賃金			214
	報償費			180
	印刷製本費			92
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	491

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	701

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			298
その他			
計(F)	0	0	298

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	403

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者			観光客及び市民
受益者数			541
受益者負担額(千円)			298
受益者負担率(%)	—	—	42.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	—	—	745

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値			9
実績値			9

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧船乗船者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値			540
実績値			541

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	多数の方に利用していただき、本市の観覧船をPRすることが出来た。 本体部分の鵜飼事業を市が行っており、この事業のみを民間が実施することは難しい。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	募集定員540人に対して、幼児も含めて541人の参加があるなど効果的である。 長良川周遊航路における定期航路事業の許可を市として受けており、観覧船のPRも十分行いうことが出来ており直営が適当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜市にいられた観光客に本市の遊覧船を十分PRすることが出来た。国の重要文化的景観に選定された景色を船上から楽しんでいただくことが出来た。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者である乗船者に必要な負担を求めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	本市の遊覧船を十分PRすることが出来て、景色を船上から楽しんでいただくことが出来た。目標を十分達成出来ている。 今後、乗合船の増便などにより事業全体の収支改善を図る。